

石川県選手権大会 審判・監督会議 連絡事項

☆男女優秀選手章を授与しています。

◎競技場開放・場所取りは6：40～ 、 選手受付：7：00～、補助競技場練習6：40～

本競技場練習：7：00～8：30まで 投擲場は8：30～解放予定

<審判連絡体制>

※陸協、高体連トランシーバ（24台）、競技場の無線インカム（20台）

→無線インカムは、場所により電波が途切れる。できればトランシーバの携帯をお願いします。

（無線インカムの状況が改善されるまでの措置、状況が改善されれば無線インカムをメインで使用）

※タブレット（30台）：スタートリスト、リザルトリストの紙での配布は必要ヶ所以外は行いません。

<トラック競技について> 新ルールに準ずる。各種審判記録用紙の確認

1 決勝・計時・周回

1. 手動の対応は800m以上の種目でお願いします。1500m以上のレースはタイムレースとする

2 競技者係・タイムスケジュールに基づき対応願います。欠場者が出た場合は、情報へ連絡

1. 別アスリートビブス・競技注意事項に準ずる。

2. 競技に使うスパイクピン検査 厚底検査は問題がある者のみ。

3. 中学生のナンバーカードについて

→胸背はプログラム記載のナンバーカードを着用（各中学校の番号）

→腰はレーンナンバーを着用（中学生で準備予定）

4. ナンバーカードを準備していない競技者の対応について＝胸背腰ともレーンナンバーで対応する。

（中学と同番号が同一組に存在したら、中学生はレーンナンバーで対応。競技者→写真判定へ連絡）

5. 回収は各自で競技者係の箱へ返却。

6. 最終点呼は招集所で実施 → 競技場所へ。

7. 欠場により一発決勝が可能なら予選は行わないことがある。（決勝の時間に実施）

→【確認手順】

<招集より → 競技部長へ → 総務へ → 情報番編へ>

※「場内アナウンス」と「招集所への掲示」

8. 決勝棄権者が出て繰り上げ選手を決勝進出させない。

9. リレー種目で同一ユニフォームがそろわないチームを確認し、総務へ連絡願います。

3 用器具

1. グループスタートは3000m以上で20名を超えたら実施

2. 給水は5000m・10000m・5000mWで行う。

3. 女子の3000mscもあるので、障害の高さ確認。

4 アナウンサー

1. 選手紹介は準決勝から行う・短距離800m決勝種目はゲートから一人ずつ紹介方式。

2. 記録発表 は電光掲示と合わせて使用して決勝は8位まで・予選はできる範囲まで発表する。

3. 記録発表はできる限り、次ラウンド進出条件の順位まで発表する。

4. タイムレース以外の決勝進出者を早めに発表する。

5 リレーについて

1. オーダー提出後の変更は、医師の診断が必要。診断がある場合でも、走順は変更できない。

2. バトンパスでの反則についての確認。

6 オープン種目について

1. 国少年A・B3000mで実施

2. どの種目においても、県外登録競技者はオープン扱い

7 不正スタートの告知・スターターがスピーカーを通じて行う。

1. 「グリーン」「レッド/ブラック」カードの提示・・・出発係

2. 遅延行為等の「イエロー」「レッド」カードの提示・・・スタート審判長

3. アナウンスへの連絡・・・従前通り出発係

8 スタート前の出発係の確認

1. 前方 1名・・・着手の確認
2. 後方 2名・・・フットプレートへの足底の接触確認、女子種目の場合は後は女性審判とする

<フィールド競技について>

各記録用紙の確認と準備、計測ラインは現段階では設けない。

1 競技場所はプログラム参照

1. 走高跳・棒高跳は競技中事項の記載通りに実施する。天候等による変更は審判長へ連絡
2. 「男子走幅跳」「女子走幅跳」「男子三段跳」 → 2ピット
「女子三段跳」 → 1ピットで実施
3. 三段跳の踏切板・・・男子12m 女子9m ※ 最終的には審判長判断

2 試技時間と制限タイマーと記録掲示板使用。

1. 試技時間・・・走高跳・・・「4名以上：1分」「2-3名：1分30秒」「1名：3分」「連続試技：2分」
棒高跳・・・「4名以上：1分」「2-3名：2分」「1名：5分」「連続試技：3分」
上記以外・・・「すべての人数：1分」「連続試技：2分」

2. 記録掲示板は360度見えるように配慮する。

3 投てき器具は、基本的に競技場備付けの物を使用する。ただし、競技場に備えのないものは検定を行い借り上げ (他の競技者も使用できる)

4 投てき種目は競技場内での練習は審判の指示で実施。(個人的な練習は行わない。)

5 計測は1投ごとに行う。(ハンマー投はペグ使用、やり投・円盤投は光波計測器使用)

6 トラック種目とフィールド種目を兼ねている者に対しては、練習・試技は競技規則に基づく。

7 トップ8は用紙で審判長へ提出する。＊競技は続行する。

→審判長はコピーして情報・アナウンサーへ連絡する。

→記録用紙には重さ、開始終了時刻を記入する。

8 競技者の最終点呼については、フィールド種目は競技の進行状況に応じて待機させる場合もある。

＊ハンマー投・棒高跳の最終点呼は現地で実施。・・・欠場者は審判長・情報へ連絡

9 ウォーミングアップに関して<審判の指示を徹底>

- ・投擲種目練習は砲丸投・やり投げのみサブグラウンドを使用しても可とする。(大会日のみ)
(コーンで仕切り安全を確保する)円盤投げ・ハンマー投げは投擲場へ
- ・投擲場では2日目14：30からハンマー投競技がある。(時間に注意すること)
- ・サブグラウンドの雨天走路は解放するが、晴天時はハードル・走練習は使用させない。
→雨天時は：ハードル練習は1. 2レーンのみ。走練習は3. 4レーンとする。
- ・使用した器具は各自で後始末を行うこと。
- ・棒高跳び使用の際は、十分に注意して実施。
- ・その他は、注意看板を掲示する。

《共通事項》

- 選手権なので最終点呼は厳しく対応。(遅れた場合は失格もありうる)

→招集審判長→総務への連携の徹底をお願いします。

- 表彰式は行わない、3位まで賞状がでる。(1位はメダル)賞状は、玄関ロビーへ必ず取りに来ること。

- 最優秀選手賞と10年連続優勝者にはトロフィー贈呈

- 競技が終わったらテント等の用具の片付けをお願いします。

- 補助員割・清掃分担はプログラムに記載してあります。

- 補助員控え室は雨天走路とする。→→→ 補助員への確実な指示をお願いします。

- 大学生の審判控え室は会議室とする。

★国スポ予選の該当種目における「ふるさと選手」の取り扱い・・・強化部より